



「看取り」について

多くのご高齢の老人の急変は自然の経過(老衰)です。回復の望みがなく、ご本人またはご家族が望んでおられない場合は延命措置(人工呼吸器に代表される生命維持装置)を施すべきではありません。急変時にご家族は慌ててしまうのが普通です。お粗末な施設だと、ご家族より先に職員が慌ててしまっていて、ご家族の不安を煽ってしまいます。当会の職員は日頃からご利用者、そのご家族と死に対する考え方で何でも話し合える信頼関係を築き、価値ある終末期のイメージを共有するよう努めています。職員の意識改革や終末期ケアのための環境整備が行えるよう、「看取りに関する検討委員会」を設け、施設(在宅)での終末期ケアに前向きに取り組んでいます。

■介護老人保健施設ソルヴィラージュでの看取り実績

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2011年	4	2	2	3	4	1	4	6	5	2	4	1	38
2012年	3	2	2	2	5	2	1	2	2	3	2	2	28

■介護老人福祉施設ソルメゾンでの看取り実績

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2011年	1	1	1	0	3	1	0	3	3	3	1	2	19
2012年	0	2	1	0	2	0	2	1	0	2	2	0	13